

株式会社 竹藤商店

SDGsの取組

| 取組・活動内容 | <p>当社は長らく造園資材の卸売を行ってきました。SDGs時代となり、「庭のある暮らし」の提案を通じて、持続可能で幸せな生活の実現に貢献する事業活動へと事業シフトをして参ります。「庭」は、自然との触れ合いを通じて「人と人・人と自然のコミュニケーション」が生まれ、健康的に豊かな人生を送ることができるとても大切な場所です。私たちは、これまで培ってきた卸売りの立場を“持続可能な社会を創っていくための大切な役割が担えるプラットフォーム”であるととらえ、①「庭のある暮らし」の提案を通じた循環型の豊かなライフスタイルの発信、②働き方改革・仕事効率化・健康経営、③3Rの推進と自然エネルギー（電気）への転換による環境への配慮、を3本の柱として、SDGs経営を推進します。</p> | | |
|------------------|---|--|--|
| | 目指すゴール | 取組・活動内容とゴールとの関係 | 目標 |
| | 経済 11, 12, 15 | <p>「庭のある暮らし」を体感できる場の整備と循環型ライフスタイルの発信</p> <p>プラスチックに置き換わる「天然素材を活かした庭づくり」の推進</p> | <p>展示場の新規整備オープン（2023年度）及びワークショップの定期開催</p> <p>天然素材「竹」を活かしたマルチング材、土壌改良剤他、合計2点の新規開発と販売開始（2021年なし→2026年3点）</p> |
| | 社会 3, 8 | 有給休暇取率の向上および健康経営 | <p>有給休暇取得率 2020年度71.4%→2025年度80%</p> <p>健康経営優良法人の認定維持（2020年・21年取得→2025年維持）</p> |
| 環境 12, 13, 14 | 産業廃棄物（ゴミ）の減量及び再資源化の推進、フォークリフトの電動化率の向上 | <p>排出ゴミの減量（3Rの推進） 産業廃棄物処理量2020年55立米→2025年50立米</p> <p>フォークリフトの電動化 2021年8台中3台→2025年8台中5台</p> | |